

# 平城山地区 防災まちづくり活動ニュース

平成 28 年 8 月発行 いわき市 危機管理課

## 2年目の活動が始まりました！

### (第6回防災まちづくりワークショップ)

平成 28 年 7 月 21 日 (木) 午後 7 時から、城山地区の防災まちづくり検討委員のメンバーをはじめ地区の皆さん方に集まっていただき、「第 6 回城山地区防災まちづくりワークショップ」を実施しました。

「防災まちづくりワークショップ」は、いわき市内の 3 地区で地域の助け合いによる防災力の向上に向けて、昨年度から全 10 回実施するもので、今年度は 2 年目として 5 回行います。

今回は、昨年度に引き続き第 6 回目として 19 名 (地区住民 14 名、福島工業高等専門学校の教員 1 名、ほかに市職員 3 名、コンサルタント 3 名) が参加しました。

まず、今年度の取り組み内容とスケジュールの概要を確認しました (裏面参照)。

次に、今後取りまとめていく「平城山地区防災計画」の目的や意義、盛り込む内容構成について学習しました。

その後、2 グループに分かれ、今後の話し合いの「前振り体験」として、大雨が降っている際に、城山地区がどのような状況となるか、各参加者がどのように考え行動するか等をイメージいただきました。参加者全員の行動や考えを互いに話し合い、避難のタイミングや避難場所、日頃から備えておくこと等の「気づき」をまとめました。



#### ■地区防災計画の構成 (ワークショップ資料より抜粋)

### 3. 地区防災計画とは

#### ■内容構成 (イメージ)

1. はじめに
2. 地域特性と予想される災害
3. 活動の方針と計画
4. 平時の活動 (備え) と災害時の活動
5. 実践と検証
6. 参考資料

※今後話し合っ中身を構築していく際、内容や分量によって構成を微調整する場合があります。

(内閣府「地区防災計画ガイドライン」、その他地区での先行事例より作成)

#### 【地区の特徴の理解】

- 城山地区の特徴・課題をまとめます。
- これまでの城山地区での災害発生状況等をまとめます。

#### 【日頃の防災活動】

- 城山地区の自治会、自主防等の活動状況等を掲載します。

#### 【いざというときの行動】

- 城山地区での避難場所、ルート、方法、タイミング、助け合いといった地区独自の内容を今後話し合っていきます。
- 話し合いだけでは分からない内容については、訓練で試行・検証します。

★ 『これまでに経験のない大雨』が降ったら？(第6回ワークショップ)の内容 ★

○いざというときの行動を今後考えていくにあたり、今回は「前振り体験」として、もし「土曜日の夜、城山地区でこれまでに経験のない大雨が降ったら、どうするか？」をイメージいただきました。

○「①テレビニュースで今後の大雨への警戒が報じられている場面」、「②実際に大雨となり停電した場面」を取り上げ、城山地区で予想される状況や自らの行動、ほかに気になること等を具体的に書き出させていただきました。

■地図での「イメージづくり」



磐城桜が丘高校への避難を想定した際、自宅の場所によっては狭い道路の通行や急な坂道を登る必要があるなど、**同じ地区内でも様々な状況に置かれる**ことに気づきました。

■参加者の「イメージ結果」



大雨の際、情報収集の継続、ご近所の状況の心配、自分の身の安全確保など**様々な行動**があることがわかりました。また、**雨の程度により皆さんの行動が変わる**ことも確認しました。

■話し合ったことの全体発表



被害を軽減するために、大雨時の**有効な情報収集手段**、日頃からの**連絡網の作成**、避難先での**備蓄物資の確認**など、城山地区での**今後の具体的な対応策**のアイデアを話し合いました。

**次回以降の防災まちづくりワークショップの予定**

今年度は、下記の予定で開催します。これからでも気軽に参加できるプログラムとなっていますので、是非ご参加ください。【お問い合わせは下の連絡先まで】

回数	時期	取り組み
第7回	9月15日(木) 午後7時～9時	○地区防災計画の骨子づくり
第8回	10月20日(木) 午後7時～9時	○訓練の企画等
第9回	11月 2時間程度(予定)	○訓練の実施
第10回	1月19日(木) 午後7時～9時	○地区防災計画案の作成 ○今後の活動計画の検討

◆防災まちづくり活動支援事業に関するお問合せは



いわき市総合政策部危機管理課：植野(うえの)、藁谷(わらがい)  
(電話 22-7551(直通))